

# 貸借対照表

[ 2023年 3月31日 現在 ]

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	199,094	流動負債	540,155
現金預金	683	買掛金	51,480
受取手形	47,201	短期借入金	66,000
売掛金	142,253	リース債務	234,610
商 品	8,175	未払金	130,718
前払費用	781	未払費用	12,900
		未払法人税等	310
		未払消費税等	22,630
		前受金	21,171
		預り金	333
固定資産	615,853	固定負債	204,788
有形固定資産	580,394	長期リース債務	203,455
車輜運搬具	0	退職給付引当金	1,332
工具器具備品	5,462	負債合計	744,943
リース資産	400,669	純資産の部	
建設仮勘定	130,350	株主資本	70,005
貸与資産	43,913	資本金	80,000
無形固定資産	450	利益剰余金	△ 9,994
ソフトウェア	450	その他利益剰余金	△ 9,994
投資その他の資産	35,008	繰越利益剰余金	△ 9,994
繰延税金資産	35,008	純資産合計	70,005
資産合計	814,948	負債純資産合計	814,948

## 重要な会計方針に係る事項

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品	個別法による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)
----	----------------------------------

### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)	定額法
無形固定資産(リース資産を除く)	定額法
リース資産	所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価格を零として算定する定額法

### 3. 引当金の計上基準

退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。 なお、退職給付債務の見込額は、簡便法(退職給付に係る期末要支給額を退職給付債務とする方法)により計算しております。
---------	--

### 4. 収益及び費用の計上基準

レンタル及び機材管理に係る収益は、主に機材レンタルと設置や機材管理であり、顧客との契約に基づいて機材のレンタルとサービスを提供する義務を負っております。当該契約は、契約期間にわたり履行義務を充足する取引であり、履行義務の充足の進捗度に応じて収益を認識しております。

## 当期純損益金額

当期純利益は120,023千円であります。

※記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。